

コンパクトで倒伏に強い稲づくりと気象変動に強いコメづくり 春作業編

- ・令和8年産米の収量・品質の向上に向けて、適切な作業計画を立てましょう！
- ・苗半作！良い実りのために健苗育成を目指しましょう！
- ・ハウス内の温度管理を徹底し、特にヤケ苗・徒長苗に注意しましょう！

1. 田植え日に合わせた育苗計画

【作業スケジュール例（加温出芽、ハウス管理の場合）】

健苗育成のため、品種ごとに適正な作業計画を立て、田植え日に合わせた適期播種、適正播種量、適切な温度管理に努めましょう。

	浸種		催芽		播種		田植え		10a 当り 使用箱数の目安
葉月みのり	3/19	10℃×10日	3/29	3/31	← 25日 →	4/25		17箱	
新潟次郎	3/28	10℃×10日	4/7	4/9	← 24日 →	5/3		18~20箱	
こしいぶき	4/5	10℃×10日	4/15	4/17	← 18日 →	5/5		18箱	
コシヒカリ	4/8	10℃×12日	4/20	4/22	← 18日 →	5/10		16箱	
新之助	4/13	10℃×10日	4/23	4/25	← 18日 →	5/13		16箱	

2. 浸種から播種までの作業手順

浸種

○積算温度 100℃ をしっかり確保。
水温は 10~15℃
※令和7年産のコシヒカリ種子の休眠は深いと予想されています。積算温度 120℃ を目安に浸種期間をしっかりとって休眠を打破しましょう。

催芽

○催芽時の温度は 30℃
温度計を入れて確認する。
○ハト胸になった催芽粃の割合が 80%以上 になったのを確認して催芽を終了する。




播種

○1箱当たりの播種量の目安
乾粃 140g/箱（催芽粃 175g/箱）

～浸種ポイント～

浸けはじめの水温は絶対に冷たくしない
その後は水温の上がりすぎに注意

◇酸素不足にならないよう十分な水量を確保し、3~4日ごとに適切な水更新を行いましょ。

◇浸種初期の水温が10℃より低いと発芽不良を起こす場合があるので、浸種する前には必ず水温を確認しましょう。

◇気温が上がり、水温が15℃以上になりそうな場合は、午前中に水の更新を行いましょ。

3. 品種に合わせた栽培管理

○基肥の目安…品種ごとに適した肥料・散布施用量で施用実施しましょう。

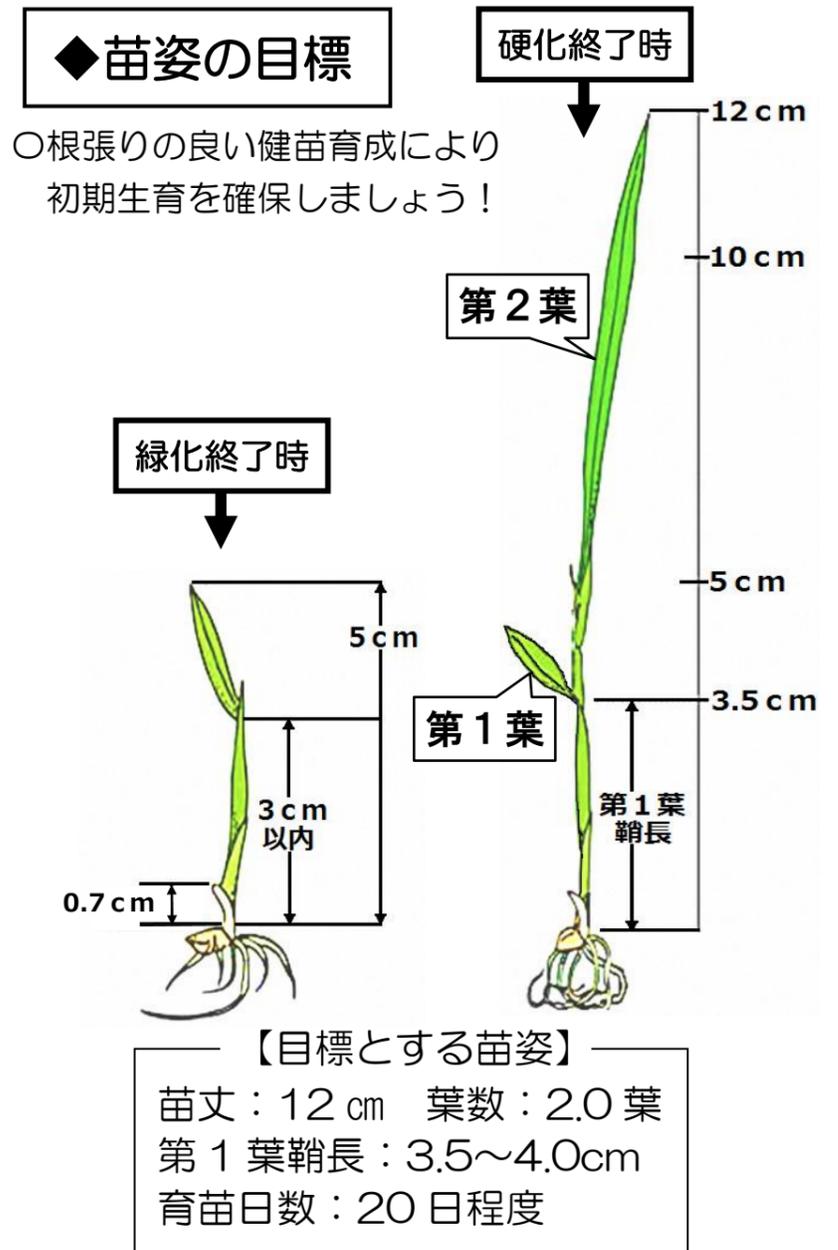


品種	分施の場合			全量基肥の場合		
	肥料名	施用量 (kg/10a)	窒素量 (kg/10a)	肥料名	施用量 (kg/10a)	窒素量 (kg/10a)
コシヒカリ	越後の輝き有機 50 元肥	25~30	2.5~3.0	越後の輝き有機 50 スーパー元肥	30~40	3.6~4.8
こしいぶき	国産化成肥料 14-14-14	25~30	3.5~4.2	JA 柏崎専用ワンタッチ早生	40	6.0
葉月みのり	国産化成肥料 14-14-14	25~30	3.5~4.2	早生多収米一発元肥 307	20~25	6.0~7.5
新潟次郎	高窒素エコマル 888	40	7.2	早生多収米一発元肥 307	40	12.0
新之助	越後の輝き有機 50 元肥	25~30	2.5~3.0	越後の輝き有機 50 スーパー元肥ロング	30~40	3.6~4.8

※上記の施肥量は目安です。田んぼの地力に応じて施用量を調整しましょう。

4. ハウス育苗（稚苗）の管理

時期	緑化期		硬化期	
実施期間	2～4日間		12～13日間	
被覆	<ul style="list-style-type: none"> 第1葉が開いたら、シートを取り除く。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的にハウスを開放し、霜注意報など低温時には閉める。 	
換気	<ul style="list-style-type: none"> ハウス内の温度が20℃以上の場合は、ハウスを換気する。 		<ul style="list-style-type: none"> 田植え1週間前頃からは夜間もハウスを開放し外気にならす。 	
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 晴天時は早めに換気！ ヤケ苗・徒長苗を防ぎましょう！ </div>				
温度	昼	20～25℃	昼	15～20℃
	夜	15～18℃	夜	10℃以上
かん水	<ul style="list-style-type: none"> 緑化開始時に土の状態を確認し、かん水を行う。 土の表面が乾いた場合は、1日1回午前10時頃までに行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 前半は1日1回、後半は乾き具合をみて1日2回行う。 床土の温度低下を防ぐため、午後3時までにかん水を終了する。 	



5. 育苗期の障害と対策

✓育苗期間中の不安定な天候によりヤケ苗やムレ苗等が発生する可能性があります。ハウスの温度管理に留意しましょう。

○ヤケ苗

- 【症状】出芽・生育が停滞し重度の場合は黄化、枯死する。根の発育が劣り、マット形成が不十分になる。
- 【原因】出芽期・緑化期のハウス被覆資材内の高温。
- 【対策】晴れの日には朝早めにハウスの換気を十分に行う。ヤケにくい被覆資材（ハイホワイトシルバー等）を使用する。

○ムレ苗

- 【症状】地際から葉身が急に巻き始め、次第に坪状に広がり枯死する。
- 【原因】ピシウム菌の関与が大きく主に急激な温度変化で発生する。（8℃以下の低温とその後の高温）
- 【対策】温度の激変を避け、夜間の温度は8℃以下に下げない。過湿を避ける。

◎ SNS・メールで情報提供しています！

<JA えちご中越柏崎地域営農情報>



アカウントID：@882qbimy

<柏崎農業普及指導センター 稲作メールマガジン>



↑詳細はこちら

ngt111840@pref.niigata.lg.jp

- こちらのアドレスに、
- ①件名は「メールマガジン申込」
 - ②本文に「氏名」、「電話番号」を記入の上、送信してください。

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、新潟県農業共済組合中越支所、えちご中越農業協同組合、柏崎土地改良区
 柏崎農業普及指導センター（新潟県柏崎地域振興局農業振興部）

【お問い合わせ先】

全地区共通

柏崎農業普及指導センター 21-6263
 JA えちご中越かしわざき営農センター
 農政企画課 21-0220

東部田尻・西中通・高柳

かしわざき営農センター 35-8188

南部高田・中央柏崎地区

かしわざき南部営農センター 41-6087

刈羽・西山地区

かしわざき北部営農センター 45-2258